

ゴールデンウィークは鉄道祭り suito 鉄道広場

原寸大の段ボール機関車やミニSL・ミニ電車の乗車体験、鉄道の映画上映など盛りだくさんです。ゴールデンウィークの穴場スポットとして、ご家族で足を運んでみませんか。



①段ボール機関車展 (入場無料)

●期間 4月29日(土・祝)～5月7日(日) 午前10時～午後4時

②「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」上映

●日時 4月29日(土・祝)▷午前10時～▷午後2時～

●入場料 中学生以上500円、小学生以下200円

③「蒸映」上映 (入場無料)

●日時 4月30日(日)、5月2日(火)～4日(木・祝)、

6日(土)、7日(日)▷午前10時～▷午後4時～

④段ボール迷路 (入場無料)

●日時 4月29日(土・祝)～5月7日(日) 午前10時～午後2時

⑤ミニSL・電車乗車体験

●日時 ▷ミニ電車=5月2日(火)、5日(金・祝)～7日(日)▷ミニSL=5月3日(水・祝)、4日(木・祝) いずれも午前10時～午後4時

●入場料 中学生以上200円、小学生以下100円

全国から集まって合唱 柳河を 柳川で歌う会

大阪外国語大学グリーンクラブOBを中心に全国から100人以上が集まり、男声合唱の定番、男声合唱組曲「柳河風俗詩」を熱唱します。力強い歌声が音響自慢の白秋ホール内に響き渡ること間違いなし。

男声合唱が織りなす力強くも繊細なコーラスを体感してみませんか。

●日時 4月15日(土)午後3時開演(開場は30分前)

●入場料 一般800円、高校生以下無料(市民文化会館で整理券配布中)

●前売券販売 市民文化会館で販売中



古典落語も新作落語もこなすマルチ落語家 三遊亭圓歌独演会

古典落語、新作落語どちらもこなす三遊亭圓歌。特に新作落語では少年時代や母親のこと、健康のことなど身近な題材で創作、ダジャレや小咄、時事を絡めたギャグなどが得意。見る者聴く者を必ず笑わせてくれる話術は圧巻です。沈みがちな世相を明るく笑い飛ばしませんか。

●日時 8月20日(日)午後2時開演(開場は30分前)

●入場料 全席指定3500円(未就学児入場不可)

●無料託児 8月11日(金)までに要予約

●前売券販売 全席指定4月8日(土)午前10時から市民文化会館で販売開始

第3金曜 ロビーコンサート

●日時・料金 4月21日(金)午後7時～(約60分)、無料

●出演 ピアリンバ



昭和の柳川 企画展「野田演吉写真展」

市史編さん係 白石 直樹



昭和30年代に沖端で撮影された写真

今回紹介するのは、写真家の野田演吉です。演吉は、中学伝習館から東京農業大学に進み、昭和9年に福島県農会の技手に就職しました。昭和11年に福岡県農事試験場に移り、太平洋戦争で兵役を務めた後、昭和21年に福岡県農事試験場に復職。翌年に福岡県農業会に移ります。そして、昭和24年に大牟田市の橘中学校へ教師として赴任。その後、高田中学校、大和中学校、瀬高中学校、三橋中学校と公立中学校に勤務しました。昭和45年に杉森女子高校(現杉森高校)に移り、昭和62年まで教員生活を継続。そんな38年におよぶ教職の傍ら、時間を見つけてはカメラを抱えて、趣味の写真撮影に励んでいました。

上の写真は昭和30年代に演吉が撮影した写真です。細い路地を子どもたちが走り抜け、そばで漁具の手入れをする大人たちがほほ笑みながら眺めています。当時の町の様子が、いきいきと伝わってくる1枚です。

演吉の写真は、有志らの手で平成9年に「演吉の野田演吉写真集」として出版されました。写真集の中で演吉は「昭和25年から自宅近くの沖端をホームグラウンドに決めた。沖端の老若男女を問わず、一家を挙げて働く、明るく何の屈託もない雰囲気魅せられて撮影を続けた」と述べています。上の写真もそのことがよく表れています。

先日、演吉の遺族からフィルムなどが柳川古文書館

に寄贈されました。フィルムには、昭和20年代から平成にかけて撮影された2万4000カット以上が残っていました。今回柳川古文書館では、寄贈されたフィルムから、昭和20年代から40年代の柳川を中心に120点の写真を3期に分けて展示します。沖端だけでなく、それ以外の地域を写した写真も紹介します。どれも飾らないありのままの人々の様子を切り取ったものです。当時を知る世代はもちろん、当時を知らない世代にもどこか懐かしさを感じさせる、「昭和の柳川」が写されています。ぜひご来館ください。

企画展「野田演吉写真展」

●テーマと期間 ▷第1期「いきる」=4月11日(火)～7月2日(日)▷第2期「くらす」=7月5日(水)～9月24日(日)▷第3期「つどう」=9月27日(水)～12月3日(日)

●休館日 毎週月曜(7月17日、9月18日、10月9日はその翌日)、7月4日(火)、9月26日(火)

●会場 柳川古文書館

●入場料 無料